

<セリング・ラボ 佐藤正明 発行>

新しい営業スタイルを提案するメールマガジン

【寝て待つだけの営業活動】

～戦略的殿様商売のすすめ～

【寝て待つだけの営業活動】 Vol.47

「800万円に過ぎない？」 ～～間抜けな言い訳～

~~~~~

おはようございます。

セリング・ラボの佐藤です。

大阪府高槻市で、213円のはずの水道料金を、何と643万円で請求したという“事件”が発生したそうですが、ミスにしては、派手過ぎる話です。

私なら、刀と槍と手裏剣を持って、水道局に押しかけるかもしれません。

さて、歌舞伎役者の中村勘三郎の脱税問題が巷で話題になっていますが、あなたは、所属事務所と後援会の連名による声明をご覧になったでしょうか。

私はそれを読んで、そこにマーケティングの大失敗を見た思いがしました。

それは、一体何か？

声明文の中に、以下のようなくだりがあります。

「当局との見解の相違により約800万円、税額にして約290万円の修正をしたに過ぎない」

これは、一部の報道にあったような

「7,000万円などという巨額のものではない」

ということを強調したいために使った表現だと思います。

しかし、800万円という金額は、一般のサラリーマンなら、それなりの地位に就いている人の年収と同じものです（部課長クラスでしょうか）。

290万円などという額の税金を納めている人は少ないはずですよ。

それを、

「過ぎない」

などと言われてしまったら、

「ふざけるな！」

と思う人がいても、おかしくありません。

事実、ピンボー人の私は、ひじょうに不愉快な感情を抱きました。

確かに、一流の芸能人が、一般人よりも高収入であることは、誰もが知っている事実です。

しかし、いわば面と向かって

「お前らと違って、800万円程度のカネは、オレには誤差の範囲さ」

と、言われたのと同じようなものですから、反感を覚える人が出るだろうということくらい、サルでも分かります。

マスコミ報道の誤り(?)を否定するのは、報道を見た一般の人たちからの支持を失ってしまうと、ビジネスに支障が出るからです。

にもかかわらず、火に油を注ぐようなマネをしているようでは、開いた口がふさがりません。

一般人の多くから反感を買ってしまいかねない表現を使うこと、それ自体がマーケティング戦略の失敗です。

この声明文を書いた関係者は、ごくあたり前の人間心理を理解することができない、ひじょうに無能な人なのだろうと思います。  
このメルマガの文脈から言えば、「サル以下」ということになります。

一所懸命に働いても、わずかな収入しか得られない、「私のような」ワーキングプアが存在が、社会問題になっている、というタイミングを考えただけでも、「800万円に過ぎない」などという言い回しをすることの間抜けさが分かります。

マーケティングにせよ営業にせよ、文字や言葉を通して、お客様に対するメッセージを伝えます。だから、このようなオバカな間違いを犯してしまうと、得られるはずのものでさえ、失ってしまう可能性がある、ということです。だから、文字や言葉は、いい加減に扱ってはいけません。

私は、この“立派な声明文”を読んでから、メールや提案書類などで書いた文章を、少し時間を置いて、もう一度見直すようになりました。無意識のうちに「しでかしてしまう」失敗が、一番怖いからです。あなたは、この“素晴らしい声明文”から、何を感じたのでしょうか。

~~~~~

「会えない人」に会うための戦略を探している方はこちら  
<http://www.selling-lab.com>

筋のよいアフィリエイト商品を探している方はこちら  
<http://www.infocart.jp/shop/description.php?IID=8925>  
~~~~~

発行元 : セリング・ラボ  
編集人 : 佐藤 正明  
所在地 : 〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町 2-34-13-102  
連絡先 : [magmag@brains-works.com](mailto:magmag@brains-works.com)  
個人のスキルアップはこちら : <http://www.selling-lab.com>  
企業の営業力向上はこちら : <http://brains-works.com>